第二講・少年たちの夏②（物語文）

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

友達と四万十川をいかだでくだる途中、「ぼく」は渦につっこんでいった。

一瞬、ふわっとうくような感じがして、どんと［Ａ］がきた。ドラゴンホース号は、天に昇るみたいに頭を持ちあげ、それから水面にばしゃっとおちた。ぼくはひっしでしがみついた。ドラゴンホース号は、はげしくからだをふるわせて、いきなりしずかになった。ぼくとドラゴンホース号は、渦のそとにうかんでいたのだ。

息がはあはあしていた。その息の底から、なんだかめちゃくちゃうれしいものがこみあげてきた。

「おおおおっ」

渦をぬけたとたん、ぼくは声をあげた。安全を感じたとたんにあげる、恐怖の叫びだった。それはまた、［Ｂ］の雄叫びでもあった。心臓が破裂しそうにいたかった。ドラゴンホース号は、四万十川の川上に頭をむけていた。反転したわけだ。岬のさきで、びっくりした目でぼくを見ているまもると圭造がいた。

【「やったあ」

と、まもるがいった。

「ほっほお」

と圭造が手をたたいた。

四万十川の流れに、ドラゴンホースがゆっくりと川下に頭をむけはじめていた。

ぼくは、まだ息をはあはあさせながらいった。

「まもる。圭造。どうする。やるがか」

「やる！」

「やらいでか。やったろやんけ」

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

まもると主造は、岬からすっとんでいった。】

〈横山（よこやま）　充男（みつお）「少年たちの夏」より〉

(1) [A]・[B]に入る言葉としてふさわしいものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア　よろこび　　イ　悲しみ　　ウ　発見

エ　不安　　オ　衝撃（しょうげき）

A [ ]　B [ ]

(2) ——線「いきなりしずかになった」とありますが、ドラゴンホース号がしずかになったのは、なぜですか。文中の言葉を使って答えなさい。

[ ]

(3) 【　】の部分は、どのような場面ですか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　まもると主造が「ぼく」が無事に渦からぬけたことを大人に知らせようと走っていく場面。

イ　「ぼく」の様子にしげきを受けて、まもると主造もいかだで渦の中へ入ろうとする場面。

ウ　早く「ぼく」のいるところへ行こうと、まもると主造がドラゴンホース号を川下にむける場面。

エ　「ぼく」が渦からぬけたのを喜んで、まもると主造が岬から川へ飛びこむ場面。

[ ]

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

太陽が、ちょうど真上のところにあった。ぼくらは、三そうのドラゴンホースを見送ったあと、①灯台の下で昼ごはんにした。あんぱんだけだったけど、ぼくらは満足していた。水筒（すいとう）のお茶は、どんなジュースよりもおいしかった。

【「ぼくな、中学は高知市にいくけんど、［Ａ］」
とつぜん、まもるがそんなことをいった。
「親の仕事をつぐのとちがうがか。歯医者は、金もうけできるがやろ」
「ぼくは、絵を描（か）きたい。歯医者は、おねえちゃんになってもろうたらええ」
「たかっさんみたいな、絵描きさんか」
「まもるも、いくんか。［Ｂ］」
と主造（けいぞう）がつぶやいた。
さびしくなるなんて、主造がいうとは思わなかった。
「こうちゃんは、どんなおとなになりたいが」
と、まもるがまじめな顔できいた。
「ぼくは、まだ決めちょらん」
「ほんなら、主造は？」
「おれか。おれは、ちゃんとしたおとなになる」
「ちゃんとした？」
主造は、さいごのパンのひと口をのみこんで、はずかしそうにいった。
「うん。なんしか、ちゃんとしたおとなや。ちゃんとした人間や」
ぼくは、主造はいまでもちゃんとした人間だと思った。
「ちゃんとした人間か」
と、まもるはしみじみとつぶやいた。
「主造は……」】
ちゃんとしているよといいかけて、②ぼくはことばをのみこんだ。
そんなこと、ぼくが決めることじゃない。
みゃあ！　と白いカモメが鳴き、ぼくらの上をとんでいった。

〈横山（よこやま）　充男（みつお）「少年たちの夏」より〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)　――線①「灯台の下で昼ごはんにした」とありますが、このときの「ぼくら」の気持ちがわかる言葉を、六字でぬき出しなさい。

(2)　A・B に入る言葉としてふさわしいものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア　歯医者にはならんかもしれん
イ　みんながんばってるな
ウ　おれひとり、さびしくなるな
エ　絵描きさんにはならんかもしれん

A
B

(3)　【　】の部分では、三人はどんな話をしていますか。それを説明した次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

将来（しょうらい）□□□□□□になるかという話。

(4)　――線②「ぼくはことばをのみこんだ」とありますが、それはなぜですか。文中の言葉を使って答えなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講・確認（かくにん）テスト

送りがなのまちがっているものを選びなさい。

1　ア　起きる　イ　計る　ウ　当る　エ　表す

2　ア　新しい　イ　悲しい　ウ　楽しい　エ　美くしい

3　ア　断る　イ　省る　ウ　表す　エ　正す

4　ア　増える　イ　支える　ウ　交える　エ　営なむ

5　ア　断る　イ　導く　ウ　図る　エ　報る

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　少年たちの夏②（物語文）

一題目

(1) Aオ
Bア
(2)（例）渦をぬけて、そとにうかんでいたから。
(3) イ

二題目

(1) 満足していた
(2) Aア
Bウ
(3) どんなおとな
(4)（例）圭造がちゃんとした人間かどうかは、ぼくが決めることではないと思ったから。

〈確認テストの解答〉
１　ウ　２　エ　３　イ　４　エ　５　エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。